

令和4年度_第81回 全国推進会議(IYEO主催) 議事録

日時：2022年12月3日(土) 9:30-12:30

会場：Zoom オンライン

出席	幹事会構成員 26名、都道府県会長 35名、計 61名
欠席	幹事会構成員 6名、都道府県会長 12名、オブザーバー 0名、計 18名
議長	藪田(四国B)、飯田(富山県会長)
議事録	小田(中国)
オブザーバー※	アドバイザー1名 計1名
成立条件	37/74で成立。出席 62名、委任状 8名(最終出欠)

※議決権なし

◇出席者の詳細については、出席者リストを参照

【1 戦略 ①】報告

キャリアデザインセミナー 発表者：長谷川幹事

CDSは今年度開始したセミナー。現時点で5回まで終了。メンバーがやりたいこととIYEOで関係するチームとをつなぐフェーズに入っている。ブロックイベントに関わるメンバーが出るなどの成果が出ている。今後もみなさんと対話する機会を設けたいと思っているのでご協力いただければ幸い。来年も同様のセミナーを企画予定。

To DO・継続審議事項 (担当者・役職、期限)

・特になし

質問・意見 (要約・抜粋)

【CDS(キャリアデザインセミナー)補足】

二段階人材育成とは？という部分に関わってきたいと思います。入会金を頂いた分を直接会員へ還元する話だったと思うので、セミナーが入会するきっかけになればいいなと考えています。戦略チームからアプローチ出来ない内閣府事業参加者(IYEO未入会)に地域の方で接点があるのであれば紹介してもらえそうな環境整えたいですね。(横倉幹事)

【1-②】報告

オンボーディング 発表者：長谷川幹事

事業応募・参加の段階などで段階的にIYEOに関わってもらえるよう働きかけをしている。今年度参加者を対象にオンラインアドバイス会&壮行会を開催。今後は事業ごとにお疲れ様会を企画し、事後活動について伝えたい。

10月・11月には内閣府事業OBOGとゆるくお話しする会を開き、事業内容や事後活動についてなどざっくばらんに話すことができた。

各事業の事前・事後研修で事後活動説明の時間を確保していただき、参加青年に呼びかけを行っている。

To DO・継続審議事項 (担当者・役職、期限)

・今後対面での受け入れ事業や各都道府県IYEOでの壮行会等の活動があるので、入会率を増やせるようご協力いただきたい。

質問・意見 (要約・抜粋)

・「ゆるくおしゃべりしませんか?の会」に参加された本年度事業青年の個人リスト(名前・事業・年齢・現住所など)は共有いただけますか?「ゆるくおしゃべりしませんか?の会」に参加されたか

どうか分かれると都道府県側のアプローチ方法が異なると思います。（横倉幹事）
→申し込みの段階でそうした情報の利用許可をとっていたかを確認した後、共有する。

・入会済みが少ないですが母数はどれくらいなんでしょう？（大野事務局次長）
→今年度事業参加青年数は、東南アジア青年の船 27 名、世界青年の船 55 名、育成 13 名、中国 25 名、韓国 12 名

・過去の入会率の推移と課題・対策についてはこのあと何か言及されますでしょうか？（白木幹事）
→前回推進会議の資料で言及したが、オンボーディングプロジェクトとしてムーブメントを起こしている。すでに事業が後半戦となっているため、これから大きくアプローチしていく。次回推進会議で今後の動きを提案していきたい。

・会員拡大に関して、イベント等広く多くの方に知らせてもいいのか。（亀谷 B 幹事）
→キャリアデザインセミナーについては IYEO 会員のみのイベントだが、一般向けのイベントも多くあるので、そちらはみなさんから周知いただいてもよい。会議の内容などをいつ誰に下ろすのかなどはまた別途
(本田副会長)

【1-③】報告

IYEO Learning Program 発表者：樋口都道府県幹事

10月6日、SSEAYP 既参加青年の吉野慶一氏を講師としてイベントを行った。

IYEO Learning Program NEO というプログラムを開始。11月15日に日本茶をテーマに第一回のプログラムを実施した。次回は来年1月17日に、SWY 既参加青年でエジプト在住の方から海外生活についてお話を伺う予定。

To DO・継続審議事項（担当者・役職、期限）

・特になし

質問・意見（要約・抜粋）

・特になし

【1-④】報告

活動組織と会員のマッチング支援 発表者：大野事務局次長

活動情報を見て会員が自ら問い合わせをできる仕組みは9月に構築済み。会員の情報を見て活動組織がスカウトする形式を新たに構築。実装済みの各機能は資料を参照いただきたい。

活動組織等を取りまとめた IYEO キャリアカタログ

<https://sites.google.com/iyeo.or.jp/career/> を整備中。

何年も更新がない都道府県の SNS については、ぜひ更新再開をしていただきたい。

ビジネス SNS である LinkedIn にて IYEO の団体ページを作成したので、ぜひフォロー・活用いただきたい。ご自身のプロフィールページにもぜひリンクしていただきたい。アカウントをお持ちでない方はこの機会に是非取得を。無料。

こちらを会員に一斉通知するべく、近日展開予定。

To DO・継続審議事項（担当者・役職、期限）

質問・意見（要約・抜粋）

・特になし

【1-⑤】報告

情報発信ガイドライン 発表者：工藤事務局長

今回は方向性を示し承認していただいた。先日の幹事会にて規程文案の承認を得たため、今回推進会議にて提示する。

資料中の赤字箇所が修正部分。

これまでは様々な発信について4役が確認するという手順であったが、手続きを簡略化しよりスムーズに発信をするため、担当幹事等直接の担当者が承認するという形式を取りたいということ。

以下フォームより申請し、担当幹事が承認する流れとなる。後日事務局より会員に周知案内がなされる予定。

https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSdf5d0nNggi9GBtw3wFsvf_DcZ_o22HkN2c00Cuolocf3LxfQ/viewform

To DO・継続審議事項（担当者・役職、期限）

.

質問・意見（要約・抜粋）

・【お願い】

HPでのイベント紹介はぜひ、Word形式などでデザインして頂いたものをお送りいただくと写真を入れる場所、太文字や文字の色など考えなくて済むので助かります！（横倉幹事）

・【質問】

これまで全会員のメーリングリストを all@iyeo.or.jp に流した後、決算書と報告書の提出を義務付けられていました。FB等の告知ではその義務がありませんでしたが、今回一本化されたということは、事後報告の義務はなくなるという認識でよろしいでしょうか？（國分静岡会長）

→はい、そうです。IYE0 会員主体のイベントなどで、フォームから情報発信申請をいただいたものについては、決算書と報告書の提出は義務付けないことといたしました。これも、皆さまの情報発信のハードルを下げるための施策です。（工藤事務局長）

・【提案】

國分さんからの質問の件、都道府県 IYE0 内のイベントであれば事後報告なくていいんじゃないかと思っています。というのも、私は報告書に目を通していませんし、提出されなかったからと言って追いかける気力はないです。出さなかったとしてもペナルティもなしだと思っています。（横倉幹事）

【1-⑥】報告

「社会規範と市場規範について学びこれからの IYE0 を考える会」の開催 発表者：本田副会長
伊丹アドバイザーを講師として、ボランティアとお金の関係について、学術的な視点から学ぶ。
12月14日（水）20～21時半@Zoom

団体関係で1点補足。11月末にオーストリアの団体より、Salzburg Global Seminar への協力依頼があった。オンラインで毎月セミナーがあり、最終的にザルツブルクに集まって社会課題解決についてのアイデアを協議する場を設けるというもので、日本財団の資金提供で実施されるとのこと。会員の紹介で、日本参加青年募集の協力を行った。毎年このような事業を行っており、今年は情報発信のみの協力だけだったが、今後は IYE0 とのパートナーシップを結びたいということで、協力できないか検討中。

実行委員調査についても実施中。ブロックイベント等の実行委員に対してヒーローインタビューのようなものを行い、経験が自身のキャリア形成にどう影響したかを調査。

To DO・継続審議事項（担当者・役職、期限）

.

質問・意見（要約・抜粋）

- ・【補足のための質問】全国推進会議メンバーの皆さまにも是非参加いただきたい内容だと思っております。推進会議メンバーの方の参加表明方法はどのようにすればよろしいでしょうか？ iyeo-net のメーリングリストに発信予定でしょうか。（工藤事務局長）
→12/14「社会規範と市場規範について学びこれからの IYEO を考える会」については、改めてメールでご案内しますので、予定を確保してください。人数の把握をするために、事前申込制にすることを検討しています。（本田副会長）
- ・【お願い】伊丹さんの勉強会、仕事の日程が合わないのでアーカイブ動画配信をお願いしたいです。（横倉幹事）
→アーカイブ発信は私としては推進会議メンバー（IYEO-net）限りであれば問題ありません。（伊丹アドバイザー）
→伊丹アドバイザー、アーカイブの承諾、ありがとうございます。範囲を「推進会議メンバー（幹事会構成員＋都道府県会長／役員）」として共有させていただくようにします。（本田副会長）

【2 事務局 ー①】報告

メーリングリスト（index-all 新設） 発表者：工藤事務局長
国際社会青年育成事業の参加成年向けメーリングリストを作成した。
従来のメーリングリストは、育成・中国・韓国全参加者を含めた航空機向けメーリングリスト「Air-net magazine」というものであったが、前回のメーリングリスト整理の際に中国・韓国はそれぞれ独自のメーリングリストを作成していた。育成のみが独自のメーリングリストを持っていなかったため、滝川航空機幹事とも相談の上作成した次第。

To DO・継続審議事項（担当者・役職、期限）

.

質問・意見（要約・抜粋）

- ・特になし

【2ー②】報告

はがき発送による、連絡先登録強化について 発表者：工藤事務局長
1990年以前の既参加青年かつメールアドレスの登録がない方向けにメールアドレス登録依頼のはがきを4414通発送した。
案内の内容については資料参照。
1990年以前の方はインターネットの操作が難しい方もいる可能性があるため、はがきでの返信を受け取るため、往復はがきでの送付とした。
本件はあり方検討会の中で議題としてあったグローバルネットワークの強化を目指すため、まずは国内のネットワークの強化を図るという目的で実施されている。
そのため、内閣府からの業務として推進センターが受注して作業をおこなったもので、一部内閣府の予算が使用されており、メールアドレスの登録は特定の団体である IYEO だけではなく内閣府メールマガジンの登録も依頼している。

To DO・継続審議事項（担当者・役職、期限）

・特になし

質問・意見（要約・抜粋）

【質問】メール登録について 前回案内があった1991年以降については、登録者について、内閣府のメルマガは自動的に流れているのでしょうか。（日南田B幹事）
→基本的にはそうなる。内閣府メルマガは内閣府の管理下にあり、事務局で明確に把握はしていないが、内閣府事業参加時に登録していれば届いているはず。ただし自身で登録解除ができる可能性があるため、「IYEOのメーリングリストは登録しているが、内閣府のメールマガジンは解除している」という場合もあり得る（逆も然り）。このため、必ずしもIYEOの名簿上と内閣府のメールマガジンの登録者が完全には一致していない可能性がある。

【2-③】議案

議決 幹事会構成員の解任規定案の方向性について 発表者：長末会長
幹事会で、提示資料の内容の方向で進めていきたいという議決を取った。
背景として、過去、幹事会構成員の方が様々な事情で連絡が取れなくなってしまうなどし、その活動が止まってしまったということがあった。規程がなかったため勝手に後任を置くこともできず、代理の方は非公式に活動することになってしまうということが発生した。連絡が取れなくなるケースだけではなく、様々な事情で退任せざるを得ない方もいらっしゃる可能性があることから、規程をきちんとつくろうということになった。
今回は方向性について承認いただき、再度幹事会で揉んでいきたい。

議決結果・決定事項

・賛成 53、反対 0 で可決

To D0・継続審議事項（担当者・役職、期限）

・幹事会にて規程案を更に詰めていく

質問・意見（要約・抜粋）

・【質問】 辞任する日の何日前までに辞任届を提出するのでしょうか。（永松大阪会長）
→それについても今後幹事会で協議していきたい。（長末会長）

【2-④】資料報告 2022年度会員入会状況

【2-⑤】資料報告 2022年度上期IYEO中間会計報告

【3 都道府県 ①】報告

年間計画進捗共有、各種報告 発表者：佐々木副会長
1/15 全国井戸端会議を開催予定。ブロックイベント実施の運営振り返りと引き継ぎを行う。
会員のアクティブ率を高めるための仕組みの整備として、活動組織と会員のマッチング支援を実施。
どんなワーキンググループがあったらよいかぜひご意見いただければ。
本日午後からGYLSを予定。今後もブロックイベントがあるのでぜひ参加を。
今年度内閣府事業合格者がいた都道府県を対象に、コンタクトを取ったかどうかのアンケートを実施。半数以上が連絡済。表敬訪問やアドバイス会の実施などを予定している都道府県が多く、代表としての自覚を促すとともに、都道府県活動のきっかけにもなれば。
参加青年連絡先は手元にあるが、返信がないなど連絡がつかないケースがある

To D0・継続審議事項（担当者・役職、期限）

・特になし

質問・意見（要約・抜粋）

・特になし

【3—②】報告

愛媛県 IYE0 の活動（BE 参加者より新規企画の申出があり、開催決定） 発表者：芝愛媛県会長
BE に参加してくれた学生から相談があり、学生主体のイベント実施に協力・アドバイスをを行った。
12月11日（日）、松山大学にて「未来へつなぐ松山国際フォーラム 2022」を実施予定。IYE0 会員や JICA のスタッフなどが登壇予定。
学生が主体的に企画する楽しさ、喜びを知ってもらいたく協力したが、我々 IYE0 側もそれを再認識させられた。

To DO・継続審議事項（担当者・役職、期限）

・

質問・意見（要約・抜粋）

・特になし

【4 広報—①】資料報告 年間計画進捗共有、各種報告（ブランディング PJ, HUMANO 等）

【4—②】議論

ディスカッション（広報からの問いかけ） 発表者：横倉幹事

「Why IYE0？」

IYE0 でなきゃできないこと、IYE0 に入会する理由は何？

ブレイクアウトルームにて話し合い、スプレッドシートに記入。

<https://docs.google.com/spreadsheets/d/1Ibnbj8YhtcOMS7kREV2AmLymgqxgjBdcXSaL4c4TE6A/edit#gid=0>

cXSaL4c4TE6A/edit#gid=0

スプレッドシートに入力頂いた内容は 12/5 のブランディングプロジェクトに持ち帰りメンバーに共有いたします。

【戦略担当チーム企画】2022/12/14 20-22 時開催 社会規範と市場規範について学び、これからの IYE0 から企業を考える会にもぜひご参加ください。

To DO・継続審議事項（担当者・役職、期限）

・特になし

質問・意見（要約・抜粋）

・特になし

【5 事業 —①】報告

年間計画進捗共有、各種報告 発表者：小島副会長

<世界青年の船同窓会>（小島副会長）

10/29、世界青年の船同窓会が無事終了した。延べ150名ほど参加。

大きな課題と感じたのは、予算。来年度どのようにしていくか相談していきたい。

すでに来年度の実行委員をやりたいたいという方がいるので、実行委員会を立ち上げ、月1ペースで話し合いを進めていきたいと考えている。

<日韓交流連絡会議>（宮城幹事／小島副会長代読）

今年度の日韓交流連絡会議は来年2月ごろの開催予定だったが、来年8月ごろの開催に変更となる予

定。

変更の理由

- ・韓国側には OBOG 組織がなく縦のつながりがいないため、年々実行委員メンバーや参加者を集めるのが難しくなってきた、今回から日韓合同での開催を試すことになった
- ・韓国への行き来ができるようになったので今回からオフライン開催を復活させたいが、準備期間が長めに必要

<東南アジア青年の船同窓会> (田島幹事)

東ア大同窓会 12月17日(土)開催予定。 <https://sseaypreunion.peatix.com/>

Peatix で申込受付中。現在 60 名程度。参加費を3000円と安く抑え、多くの人に来ていただこうと企画。今年のオンライン事業の参加青年や管理部の方も申し込んでおり、東ア船以外出身の方も大歓迎。

<育成&コア同窓会> (滝川幹事)

育成・コア合同プチ忘年会 (12/22夜) <https://fb.me/e/3U1fiSwRs>

コアと合同で実施予定。コアの元運営委員による NPO 対話会というグループのメンバーと合流して行う。

コアや育成でのこのような集まりは過去あまりなかったもので、20名程度を想定している。

20名の会場で17名申込み、オンラインでも10名弱の申し込みがある

今年度の参加青年も数名参加予定。

<中国派遣団同窓会> (小田幹事)

1/14 中国派遣団同窓会開催予定。2019年度の参加青年が幹事団で準備中。

まもなく申し込み開始予定。

11/23 に IYEO・東京都日中友好協会共催で開催予定だった中国大使館の講演会は、登壇者の都合で延期となった。また新しい日程が出たら案内する。

日韓交流連絡会議が延期ということで、中国派遣団同窓会にて今年度の各事業同窓会は一旦区切りとなる。その後事業担当チームで反省会なども行っていきたい。

To DO・継続審議事項 (担当者・役職、期限)

- ・特になし

質問・意見 (要約・抜粋)

- ・特になし

【6 社会貢献 -①】報告

【7 財政 -①】報告

社会貢献チーム年間計画進捗共有、各種報告/財政チーム活動方針共有 発表者：白木副会長
IYEO の勿体ないをほっとかないアイデア出し

▼記入用スプレッドシート (②社会貢献用 をご使用ください)

<https://docs.google.com/spreadsheets/d/1lbnbj8YhtcOMS7kREV2AmLyngqXgJBdcXSaL4c4TE6A/edit?usp=sharing>

都道府県や事業軸以外の事後活動の創出を目的として活動。

活動と活動支援は分けて考え、社会貢献の活動がどんどん自由にできるようグルーピングしていく。

運営・交流・基金・財政の4分野で、次回推進会議に向けてあらためてメンバーを募集したいと考えており、既存の役員メンバーだけではなく会員からもメンバーを公募していくことを検討中。

新しいIYEOをつくっていくにあたり、若い方の思いや、社会活動などの第三の軸がうまくはまれば、今後のIYEOを10年、20年と支える柱になっていくのではないかと考えている。

都道府県や事業軸のネットワークも引き続き活用していく。

To DO・継続審議事項（担当者・役職、期限）

・特になし

質問・意見（要約・抜粋）

・特になし

【8 その他】

・特になし

To DO・継続審議事項（担当者・役職、期限）

・

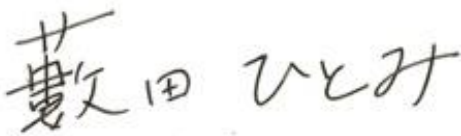


質問・意見（要約・抜粋）

・

※認識違いによる記載や内容に関する質問等がございましたら、IYEO 事務局 (secretariat@iyeo.or.jp) まで問合せください。

以上

日本青年国際交流機構第 81 回全国推進会議

<p>議長 日本青年国際交流機構 四国ブロック幹事 藪田 ひとみ</p>	
<p>議長 富山県青年国際交流機構 会長 飯田 良智</p>	
<p>議事録署名人 日本青年国際交流機構 近畿ブロック幹事 亀谷 彰夫</p>	
<p>議事録署名人 新潟県青年国際交流機構 会長 田窪 美帆</p>	